

季刊せいてん第126号 平成31年3月1日発行(3・6・9・12月 各1日発行)

2019春の号

# 季刊せいてん no.126

●浄土真宗聖典の学習誌●

特集

## 信心がわからない



真宗〈悪人〉伝／金子大榮（下） 幸せてなんだろう／十方の慈悲と隣人愛  
「唯信鈔文意」／如来のはたらき 「正信偈」／法然聖人② ほとけのいる景色／ようこそ

No.126

季刊  
せいてん

2019. 3. 1 (春の号)

特集

「信心がわからない」

- 「他力の信心」…………… 森田眞円 4  
「〈信心がわからない〉ときこそ味わいたい先学のことば」…………… 編集室 44  
「ご信心は南無阿弥陀仏」…………… 石田智秀 48

はじめの一步Ⅰ

真宗〈悪人〉伝⑮

- 金子大榮 (下)…………… 井上見淳 9

はじめの一步Ⅱ

幸せってなんだろう—悪人正機の倫理学⑨

- 十方の慈悲と隣人愛—功利主義と菩薩の救い(2) …… 藤丸智雄 16

聖典セミナー

- 『唯信鈔文意』⑤—如来のはたらき…………… 安藤光慈 22

せいてん誌上演

- 「正信偈」⑳ 法然聖人(2) 四十三歳の回心…………… 梯 實圓 30

ほとけのいる景色—アジャンター石窟寺院 **新連載**

- 「ようこそアジャンター石窟へ」…………… 打本和音 40

せいてん書道教室 ②

- 「目の錯覚」…………… 角屋あづさ 54

法語随想 **新連載**

- 「しかるに仏かねてしろしめして……」 舟川智也 56

読者のページ せいてん質問箱③

- お釈迦さまを邪魔した「悪魔」とは? …… 岡本健資 58

人ひとみな ナモアミダブツ in カリフォルニア **新連載**

- 「世界のどこであっても」…………… 桑原浄信 63

お寺はいま 大阪市瑞松寺・社会福祉法人至心会

- お年寄りの気持ちに寄り添い、いのちを尊ぶ …… 64

西の空 心に響くことば

- 念々光照…………… 榎本栄一 67

文中写真 / 編集室

お読みになる前に…文中に(〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典(第二版)』、(七祖〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典 七祖篇』のページ数を指しています。

# 幸せってなんだろう

—悪人正機の倫理学—

第9回 「十方の慈悲と隣人愛—功利主義と菩薩の救い(2)」

総合研究所副所長 ふじまる とも お  
**藤丸 智雄**



功利主義は、誰の命も等しいものと考えます。誰の命も等しく「1」と考えるのですから、一人と五人の命を比べれば、1対5で、一人より五人の命を助けることが大事であるという結論になります。しかし、そのように考えるだけで、私たちは本当に善をなしうるのでしょうか？

今回は、善を行う難しさについて考えてみましょう。

イラスト 瓜生智子

悪党が菩薩だった……



「平和の論点整理」(『宗報』二〇一五年十一月・十二月合併号)で、『大宝積経』(『大正大藏経』第十一卷六〇四頁)の話が紹介されました。

ある船に五〇〇人の商人が乗っています。財宝を求め船出し、目的を達成してインドに戻ろうとしているところでした。なんと、その商人の中に一人の悪党が紛れ込んでいました。悪党は残りの商人を殺害し、財宝を独り占めしようともくろんでいます。そのような状況下、商人のリーダーが夢を見ます。夢の中でリーダーは、海の鬼神から「悪党がいて、他の商人を殺そうとしている」と告げられるのです。それだけでなく、「船上にいる五〇〇人は、すべて発心した菩薩である」とも告げら

れます。すなわち、悪党も菩薩だったのです。

この夢によって状況を理解したリーダーは深く悩みます。自分も菩薩ですし、悪党も菩薩ですから、悪党を殺すことがためらわれます。一方で、このままだと、自分も含め四百九十九人が犠牲となります。船上の出来事ですから、悪党を退治するか四百九十九人が犠牲になるかという切羽詰まった状況です。七日間悩み続け、地獄へ落ちることを覚悟して、リーダーは悪党を殺害します。


### リーダーの行動を

### 功利主義から評価すると……

人が犠牲になる方を選ぶべきだというのが、功利主義の「最大多数の最大幸福」から導き出された結論でした。その点から見れば、功利主義の祖であるベンタムは、リーダーの判断と行動を功利主義的に適切だと評価するでしょう。


確かに、『大宝積経』の事例は、トロッコ問題によく似た話のように思われます。多くの人が救われるように行動したということでは同じでしょう。ただ、大きく違うのは、犠牲になったのが菩薩である悪党だったという点です。悪党というだけなら、トロッコ問題よりも、行動が決めやすかったかも知れません。前世に発心をしたのでしようが、何かの因縁で悪党になってしまっているという状況で、悪党を含む商人は、みんな聖人だったわけです(ダジャレ






です)。ここが、この事例の悩ましいところですよ。

### 善きサマリア人の譬え



この経典を読んだとき、『新約聖書』に出てくる、とある譬え話を思い出しました。キリスト教の大切な教えである「隣人愛」を説明する話で、「善きサマリア人の譬え」と呼ばれる一節です。



ある商人が、エルサレムから、エリコという町まで旅をしていました。エルサレムは、ご存知の通り、嘆きの壁や岩のドームがあり、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の三つの宗教の聖地となっている複雑な背景を持つ都市で、標高八〇〇メートルあります。一方のエリコは海拔マイナス二五〇メートルに位置する町です

から、旅人は高低差一〇〇〇メートル以上の険しい道のりを旅していたことになりました。

その厳しい旅の途中で、商人は強盗に出会います。身ぐるみはがされ、半死半生になり道端に捨て置かれます。その道を、最初にユダヤ教の祭司が通ります。しかし、見て見ぬふりをして通り過ぎます。次にレビ人（ユダヤの一族）が通りますが、この人も何もせず通り過ぎました。そして、最後にサマリア人が通りかかります。サマリア人は、この商人に救急処置を施した上で、家畜に乗せて近くの宿まで運びます。さらに、宿主に銀貨二枚を渡し「彼を介抱してやってください。銀貨二枚で不足でしたら、帰りに支払いましょう」と言い残して、宿を離れます。

イエスは、このサマリア人こそが

傷ついた人にとって隣人であると言えます。

### 誰が隣人か

この物語には、様々な解釈があります。詳しくは聖書の解説を読んでもいただければと思いますが、簡単に物語の背景を見ておきましょう。

この比喩物語に出てくる祭司は、ユダヤ教の中心的な立場の人です。次に出てくるレビ人も儀礼の執行に関与する人たちです。そして最後に登場するサマリア人はユダヤ人と敵対し、お互いが憎しみの対象となっている仲の悪い人たちです。

「隣人を愛せよ」と神の命令を受けている祭司やレビ人が、なぜ助けなかったのが気になります。一般に、この商人はユダヤ人ではなく、

# 季刊 せいいてん

## バックナンバーのご案内 (在庫分)



表紙写真

●特集「わが家で解決  
セルフ質問箱のすすめ」より

- はじめの一步I  
真宗〈悪人〉伝①(井上見淳)  
「顕如と教如(下)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう⑤(藤丸智雄)  
「夜空ノムコウ」
- 聖典セミナー  
「唯信鈔文意」①(安藤光慈)  
「他力信心の法義」
- せいいてん誌上講演  
「正信偈」⑫(梯實圓)  
「善導大師(4)阿弥陀仏に会う」
- もう1人の親鸞⑤  
「幽霊の救い」(黒田義道)



表紙写真

●特集  
「お盆、その前に」より

- はじめの一步I  
真宗〈悪人〉伝②(井上見淳)  
「弁円」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう⑥(藤丸智雄)  
「欲望は悪か」
- 聖典セミナー  
「唯信鈔文意」②(安藤光慈)  
「名号の摂化」
- せいいてん誌上講演  
「正信偈」⑬(梯實圓)  
「源信和尚(1)日本浄土教の黎明」
- もう1人の親鸞⑥  
「枕石の物語」(黒田義道)

122号(春の号)2018年3月1日



表紙写真

●特集「私の名著」より

- はじめの一步I  
真宗〈悪人〉伝⑥(井上見淳)  
「慈信房善鸞(下)」
- はじめの一步II  
「物語」で読み解く仏教⑫(野呂靖)  
「一生不犯 その二」
- 聖典セミナー  
「歎異抄」⑧(矢田了章)  
「第七条一念仏者は無礙の一道」
- せいいてん誌上講演  
「正信偈」⑭(梯實圓)  
「道綽禪師(1)末法を生きる」
- 和讃で学ぶ浄土真宗⑧  
「念仏者の生活」(佐々木隆晃)

117号(冬の号)2016年12月1日



表紙写真

●特集「地獄と仏」より

- はじめの一步I  
真宗〈悪人〉伝⑧(井上見淳)  
「唯善(下)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう②(藤丸智雄)  
「わかっちゃいるけど、やめられない」
- 聖典セミナー  
「歎異抄」⑩(矢田了章)  
「第九条一念仏申し候へども…」
- せいいてん誌上講演  
「正信偈」⑮(梯實圓)  
「善導大師(1)浄土教を救った高僧」
- もう1人の親鸞②  
「比叡山時代の夢告伝説」(黒田義道)

119号(夏の号)2017年6月1日



表紙写真

●特集「あわてないための  
(大乘非仏説)入門」より

- はじめの一步I  
真宗〈悪人〉伝⑨(井上見淳)  
「顕如と教如(上)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう③(藤丸智雄)  
「自分らしさ」
- 聖典セミナー  
「歎異抄」⑪(矢田了章)  
「第十条無義をもつて義とす」
- せいいてん誌上講演  
「正信偈」⑯(梯實圓)  
「善導大師(2)無量寿仏の名をたもて」
- もう1人の親鸞③  
「伝道者としての親鸞聖人」(黒田義道)

120号(秋の号)2017年9月1日



表紙写真

●特集「自死と念仏者」より

- はじめの一步I  
真宗〈悪人〉伝⑩(井上見淳)  
「顕如と教如(中)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう④(藤丸智雄)  
「嘘は悪なのか?」
- 聖典セミナー  
「歎異抄」⑫(矢田了章)  
「後序一たまはりたる信心」
- せいいてん誌上講演  
「正信偈」⑰(梯實圓)  
「善導大師(3)仏様に認められて生きる」
- もう1人の親鸞④  
「玉日姫と恵信尼さま」(黒田義道)

121号(冬の号)2017年12月1日

### ●これまでの主な特集記事●

- No.100……100号記念 勸学和上に聞く  
①聖教の真実性と布教伝道について 梯實圓  
②聖典編纂事業と『季刊せいいてん』  
徳永一 道・内藤知康・佐々木恵精
- No.102……飛雲閣と聚楽第一聚楽第の遺構か否か
- No.116……伝統とその由来
- No.117……私の名著
- No.119……地獄と仏
- No.120……あわてないための〈大乘非仏説〉入門
- No.121……自死と念仏者
- No.122……わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ

\*『季刊せいいてん』誌のバックナンバーは部数に限りがありますので、品切れの場合はご容赦願います。

お申し込み・お問い合わせは  
本願寺出版社

☎ 0120-464-583  
FAX 075-341-7753

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル  
1冊700円(税・送料込)

商品に払込取扱票を同梱しますので、郵便局もしくは  
コンビニエンスストアで料金を払い込みください。

季刊せいてん

## 定期購読のご案内

\*本誌を毎号入手していただくために定期購読をお勧めします。

●年間購読料 2,800円(税・送料込み)

▲年4回(3・6・9・12の各月)発行

\*1部からでもお求めになれます。

●1部 700円(税・送料込み)

※同じ号を一括して多部数お申し込みいただいた場合には、部数割引させていただきます。(10部以上10%・50部以上20%)

・お申し込みは↓・

本願寺出版社  0120-464-583 FAX 075-341-7753  
よむよごわさん

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル <http://hongwanji-shuppan.com/>

### 編集後記

◆親鸞聖人は他力の信心を「金剛の信心」、絶対に壊れない信心と表現されています。かつて恩師から「絶対に壊れないということは、自分の心持ちではないということ」と教えていただきました。それまでは、自分の心が深まったりするのが信心であり、そういうのは今は無理、という思い込みがありました。そうではなく、自分の心持ちではないからこそ今の自分に届いてくださる信心なのだということを、今回の特集で改めて味わっています。(N)

◆本誌8号から50号にわたり、入澤崇先生(龍谷大学学長)によって連載された「目で見る仏典の世界」(写真・丸山勇氏)が、新たに『ジャーカ物語』として書籍化されました。奇しくも今回から、「ほとけのいる景色」を執筆いただく打本和音先生は、

長年入澤先生から「仏教文化学」を学んでいる方です。

◆「お寺はいま」で訪問した瑞松寺さんは、本願寺派のビハーラ活動の理念に基づき、地域の介護福祉に取り組んでおられました。ビハーラ活動に関心をお持ちになった方には、『ビハーラ入門』友久久雄他編(本願寺出版社)がお薦めです。(S)

◆誌上講演で語られた法然聖人の求道のお話は、じーんとくるものがありました。その「だれも知らないものを見出そうとした」求道のご苦勞を計り知ることではできませんが、そこで法然聖人が格闘していた問題は、私たちが「信心がわからない」と悩んでいる時に直面している問題と同質のものだと感じます。ですので今号の誌上講演は「信心特集」の一つとしてもお読みいただけたと思います。(D)

### 投稿募集

◆本誌に対するご感想やご意見、聖典講座についてのご質問など、ふるってご投稿ください。皆様からのお便りをお待ちしております。  
◆あて先は、「〒600-8501 浄土真宗本願寺派総合研究所 季刊せいてん編集室」とご明記ください。  
◆お送りいただきました原稿はお返しできません。◆掲載分には記念品をお送りいたします。

### 季刊せいてん

NO.126 平成31(2019)年3月1日発行

#### 編集

浄土真宗本願寺派  
総合研究所  
〒600-8349  
京都市下京区堺町92番地

#### 発行

本願寺出版社  
(浄土真宗本願寺派)  
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル  
本願寺門前町60番地  
電話 075-371-4171